

2022年度 春学期:大学院共通科目【体験型講義エンプロイアビリティ】シラバス  
～体験型講義や、研究生活、他の講義で習得したスキルや経験を生かしてみましょ～

開催日: 火曜日 2限

担当教員: 森、船津(キャリアサポートセンター教員)

方法: 対面あるいはオンライン(受講生の希望を聞き、大学の指針をもとに決定します)

受講希望者:

○初回 6月7日に参加してください。みなさんの希望や状況をお聞きして実施方法や日時など調整していきます。

○5月27日正午までに [mori.norika.b2@f.mail.nagoya-u.ac.jp](mailto:mori.norika.b2@f.mail.nagoya-u.ac.jp) へてに【件名を「体験型講義希望」として】【研究科、学年(前期・後期の別も)、名大ID】を明記して連絡ください。

コロナの状況を鑑み、初回の実施方法、実施場所を6月7日までに連絡します。

対象: 全学の博士後期・博士前期課程の学生が対象となります。これまで企業に就職経験のない大学院生にお勧めです。企業情報を扱いますし、授業時間帯ではない時間帯のワークがあるため、社会人大学院生の受講については個々で検討させていただきます。講義などの言語は日本語ですが、グループワークでは学生同士で日本語と英語で意思疎通をして進めていただきます。留学生の受講も歓迎です。

内容: 多様な国籍、学年、分野、多彩なキャリアプランを持った学生とともに、ある課題に対して「アイデアを出し、議論し、企画提案する」という一連の流れを経験します。これらより、多様な人材とプロジェクトを動かす経験や、社会課題や市場を考えていくことの必要性を知る機会とします。

そして、その中から自分の人生において必要なスキルや価値観を理解し、これからの大学院生活でどのようなことを意識して研究活動をするよいか、振り返りをしながら進めていきます。自らのキャリア・ライフを検討する機会につながります。この講義のポイントは、企業や社会の現状を知る機会を作っているところです。

エンプロイアビリティとは、雇用したいと思ってもらえるような力、魅力的で協働したいと思う人が持っている能力のことです。自分の強みを理解し、発揮するにはどうするよいかをこの講義で振り返りながら実感していきます。

この講義のポイントは、キャンパスから出て、社会を見て、五感で状況を感じ取り、課題をチームで考えていただくところです。

長期のインターンシップに参加することができない方にとって、短期で企業や社会の現状を知り、ディスカッションをするよい機会にもなります。

変更の可能性はありますが、以下が現在の予定です。

日時(予定)	時間	内容(変更の可能性あり)
1 6月7日	2限	ガイダンス、グループワークの必要性、自己理解・他者評価1
2 6月14日	2限	チーム編成、チームビルディング、プレゼンテーションについて
3 自宅学習	2限	「企業の種類と分析」 「基礎研究から新事業への道/イノベーションを起こす」を学習
4 6月21日	2限	在宅医療現場の現状と、在宅医療クリニックのミッションなどを聞く
5 6月28日		各グループで、今後の予定、役割分担等を検討
6,7,8,9		現場見学、課題を設定、アイデア創出
10		中間発表、自己理解・他者評価2
11 7月8月		グループ間での共有
12,13 今後調整		グループワーク
14		発表
15		まとめ

※講義室: 全学教育棟本館 C31 講義室